

No.	012	—	1025	事務事業名	集落支援事業										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	地域活力創出課		係 名	地域振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当		事業期間	平成 27 年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	3 地域コミュニティの育成		主要施策	3 コミュニティ活動の活性化支援					
	事業の目的	人口減少及び高齢化の著しい地域等における集落の維持・活性化を図るため。						根拠法令等						
	事業の手段	集落の点検や状況把握、行政と地域との連携調整を行うとともに、住民間の話し合いの場を通じて必要とされる施策を見いだせるよう支援します。						掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		設置人数	過疎地域等の集落対策のために活用する人材の数		人	目標	5	5	5	5				
						実績	4	4						
		活動回数	過疎地域等の集落対策を推進するための活動数		回	目標	120	120	100	120				
						実績	52	56						
目標														
実績														
DO	活動内容	①	集落支援員の設置						④					
		②	集落巡回、状況把握、話し合いの支援、維持・活性化に向けた取組						⑤					
		③												
	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費		
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	416 千円		452 千円		822 千円							
	計(A)	416 千円		452 千円		822 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.115 人	729 千円	0.079 人	509 千円	0.079 人	509 千円						
		臨時職員工数・経費	0.067 人	140 千円	0.080 人	179 千円	0.080 人	179 千円						
全体事業費(A+B)		1,285 千円		1,139 千円		1,509 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	今後益々人口減や高齢化が進む過疎集落等の地域課題に対し、地域と行政をつなぐ役割として、また地域の課題解決に向けた体制作りや話し合いの支援を行う集落支援員は必要不可欠な存在であると考えます。												
	有効性	支援員の活動内容について、地域ごとに貢献度や効率性が高いものを精査し、具体的な内容を示すことにより、活動しやすい環境を整備でき、さらに効果的な事業になり得ると考えます。												
	達成度	地域運営組織による取組により地域の活性化が図られ、一定の成果を得られている集落もありますが、更に集落課題の改善に対する明確な目標の再設定や他の集落への波及を図る必要性を感じています。												
	効率性	行政による過疎集落への目配りが、必ずしも十分に行うことが困難である懸念もあることから、地域の実情に詳しい人材を活用し、市と地域を繋ぐ役割としての効率性が期待されます。												
	当面の課題	今後益々深刻化していく人口減や高齢化が進む過疎集落等の地域課題に対して、行政のみによる対策には限界が懸念される中、地域の住民主導による地域課題の点検や整理、地域づくりに向けた活動をさらに活性化させる必要があると考えます。												
	改 革 計 画	地域の実態に応じた集落の維持・活性化対策するための集落支援員の活動について、より貢献度や効率性が高いものを精査し、活動内容を具体的に示すなど、さらに活動回数を増やせるよう支援していきたいと考えます。												
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	集落支援員は、導入地域においては重要な役割を担っていますが、その業務内容が地域性や活用人材などによって左右される点があるため、改革計画にもあるとおり、活動目的や内容などの一定の設定基準などを明確にして取り組んでください。												

No.	012	—	1026	事務事業名	地域おこし協力隊導入事業										公的関与	8
PLAN	課 名	地域活力創出課			係 名	地域振興係			電話番号	089-964-4414			メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp		
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営			実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度	～	令和7年度		
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち			政策項目	3 地域コミュニティの育成			主要施策	4 コミュニティビジネスの支援					
	事業の目的	地域おこし協力隊を受け入れた地域の集落維持及び活性化と協力隊の定住のため。							根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	事業の手段	地域おこし協力隊の受入れを希望する地域、団体等と調整を図った上で、都市地域等へのPR活動を含めた募集を行い、選考、委嘱を経て隊員が円滑に活動できるよう支援します。							掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		集落維持・活性化に取り組む地区	総合戦略KPI			地区	目標	5	5	5	5					
							実績	2	3							
		地域おこし協力隊設置	総合戦略KPI			人	目標	5	5	5	5					
							実績	4	5							
						目標										
					実績											
DO	活動内容	①	地域おこし協力隊の選考、受入						④							
		②	地域おこし協力隊の活動支援(補助金、面談、調整)						⑤							
		③	地域おこし協力隊の起業支援													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	500 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	16,481 千円		22,424 千円		37,146 千円									
		計(A)	16,981 千円		22,424 千円		37,146 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.966 人	6,121 千円	0.942 人	6,065 千円	0.942 人	6,065 千円									
	臨時職員工数・経費	0.054 人	113 千円	0.054 人	121 千円	0.054 人	121 千円									
	全体事業費(A+B)	23,215 千円		28,609 千円		43,331 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持		
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	地域やアート・ヴィレッジとうおん構想が抱える問題への人的サポートと将来の定住希望者の呼び込みの面から必要な施策です。導入地区やタイミングに関しては関係者からヒアリングを重ね、ミスマッチを防ぐ必要があります。														
	有効性	行政ではできなかった柔軟な地域おこし策が可能で、住民が増えることによる地域の活性化に有効な制度である一方、将来の定住に向けた隊員の意思とサポート体制が必要です。														
	達成度	任期終了後の市内への定着率は全国平均をわずかながらも上回っており、住宅購入者や結婚による定住者もいます。今後もニーズに応じて随時募集を行います。														
	効率性	事務が煩雑にならないよう適切に処理する必要があります。しかし、地域と人材のマッチング事業としての側面があるので、多少非効率だとしても丁寧な伴走型支援を行うことも必要です。														
	当面の課題	中山間地域における地域運営組織の人的サポートとして協力隊の活動は必要です。アート・ヴィレッジとうおん構想推進や空き家活用推進のためにも本制度を積極的に推進します。国は地域おこし協力隊員の増員を推進しており、今後、他市町の導入事例を参考にしながら拡充を検討する必要があります。														
	改 革 計 画	地域おこし協力隊を導入する地域を広域化し、地域運営組織の設立及び自立化に向けて伴走支援を行います。また、他課との連携に向けた導入受入を強化するための職員研修などの実施を検討します。														
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持		
	二次評価での指摘事項	地域おこし協力隊に対する日常的なサポートとして、受入団体との連携によるコミュニケーションを図りながら、隊員の主体的な活動や将来的な定住に向けた支援に配慮してください。他課への新たな地域おこし協力隊の導入に関しては、制度目的の理解や責任、役割意識についての理解や覚悟が重要となることから安易な受入とならないよう十分な検討を重ねてください。														

No.	012	—	1043	事務事業名	空き家等有効活用定住支援事業										公的関与	9
P L A N	課 名	地域活力創出課		係 名	地域振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	補助等		実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ～		期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	2 良好な住環境づくりの推進			主要施策	3 移住・定住の促進					
	事業の目的	空き家の有効活用と適正な維持管理による空き家の解消及び移住定住の促進を図るため。						根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法							
	事業の手段	空き家の情報発信や改修費等の助成を行います。						掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略、東温市移住定住促進マスタープラン							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		制度を通じた空き家活用件数		補助制度を通じた移住者数の増加を確認するため				件	目標	1	2	2	2			
								実績	1	1						
								目標								
								実績								
D O	活動内容	①	空き家に係る相談への対応					④								
		②	空き家バンク物件の登録に向けた手続					⑤								
		③	空き家バンク物件の成約に向けた手続や支援													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	1,000 千円		0 千円		1,000 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	1,000 千円		500 千円		2,532 千円									
	計(A)	2,000 千円		500 千円		3,532 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.319 人	2,021 千円	0.162 人	1,043 千円	0.162 人	1,043 千円									
	臨時職員工数・経費	0.022 人	46 千円	0.022 人	49 千円	0.022 人	49 千円									
全体事業費(A+B)	4,067 千円		1,592 千円		4,624 千円											
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	地域振興係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	移住促進と空き家解消の両面に寄与する必要性の高い事業です。一方で、制度の利用しやすさと公平性に配慮した制度の改善の検討が必要です。														
	有効性	移住促進と空き家解消の両面に効果のある有効性の高い事業です。														
	達成度	空き家バンク制度を通じた成約件数は一定の成果が得られていますが、補助制度の執行状況は低調であることから、移住検討者等に対する発信力を高める必要があります。														
	効率性	限られた予算や人員の中で、より効率的かつ効果的な事業の在り方を検討する必要があります。														
	当面の課題	空き家対策と移住促進の両面に資する事業である一方で、補助制度の利用率が低いことから、より利用しやすい制度への見直しが必要です。ただし、見直しに当たっては、危険空家対策との関係や、個人の資産に対する支援であることなども踏まえた総合的な視点による検討が必要です。														
	改 革 計 画	令和6年度から8年度までの3か年で、県・民間事業者と連携した「トライアングルエヒメ」の枠組みに参画するとともに、地域おこし協力隊制度の活用による庁内横断的な空き家対策の推進を図る中で、本制度の見直しに取り組みます。														
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
	二次評価での指摘事項	県・民間事業者との連携や地域おこし協力隊制度の導入による空き家対策に取り組み始めたことで見えてくる新たな課題点を洗い出し、更なる方法改善に向けた検討を重ねることで、空き家対策と移住促進におけるより確実な成果に繋げられるよう取り組んでください。														

No.	012	—	1059	事務事業名	【総合戦略】移住地「とうおん」ブランド創生事業										公的関与	9
PLAN	課名	地域活力創出課		係名	地域振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度	～	令和7年度				
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	2 良好な住環境づくりの推進		主要施策	3 移住・定住の促進							
	事業の目的	東温市の知名度を向上し、移住を促進するため。						根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
	事業の手段	東温市の魅力や移住者検討者にとって有益な情報を効果的に発信していきます。						掲載計画	まち・ひと・しごと地方創生総合戦略							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		移住・定住支援ポータルサイトアクセス数		効果的なサイト運営に向けた改善点や伸ばす点を確認するため				ユーザ	目標	20,000	30,000	40,000	50,000			
									実績	43,053	52,609					
		移住・定住支援ポータルサイトアクセス数		効果的なサイト運営に向けた改善点や伸ばす点を確認するため				回	目標	100,000	110,000	120,000	130,000			
									実績	111,425	123,751					
DO	活動内容	①	県内向け・県外向けのウェブ広告の実施					④								
		②	公式SNSでの発信件数					⑤								
		③	公式Instagramフォロワー数													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		825 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	5,073 千円		5,449 千円		4,965 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.656 人	4,156 千円	0.535 人	3,444 千円	0.535 人	3,444 千円								
臨時職員工数・経費		0.230 人	481 千円	0.336 人	751 千円	0.336 人	751 千円									
全体事業費(A+B)		9,711 千円		9,644 千円		9,985 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持		
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）														
	必要性	移住に興味・関心を持っている方をターゲットに、本市の認知度をさらに向上させ、交流人口の拡大及び移住地として選ばれるため、シティプロモーションや移住検討者の受入体制は必要な取組となります。														
	有効性	総合戦略策定アンケートによると、県外における本市の知名度が低かったことから、県外向けのPRなどの取組により、全国の移住検討者を知っていただくための有効な取組となります。														
	達成度	人口減少問題への取組が全国的に展開する以前には、県内での認知度さえ高いとは言えなかった状況に比べ、徐々に周知内容の充実・整備やクオリティを高めることができています。														
	効率性	人口減少問題への取組が全国的に展開する以前には、県内での認知度さえ高いとは言えなかった状況に比べ、徐々に周知内容の充実・整備やクオリティを高めることができています。														
	当面の課題	移住希望者が本市を移住候補地にするには、知名度を拡大し、住みやすさや子育てのしやすさ、災害の少なさをPRする必要がありますが、知名度の高い自治体の競争力に追い付いていない現状です。知名度の高い松山市のベッドタウンとしての存在感を示しつつ、「ほどよい田舎」を求める大都市圏の移住希望者への訴求方法を検討する必要があります。														
	改 革 計 画	健康推進のまちづくりや教育環境の充実など、本市の特徴あるまちづくりを市外にプロモーションするため、移住・定住支援ポータルサイトを「総合サイト」とするなど、横ぐしをさせた取組を通じ、知名度の拡大を図ります。														
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持		
二次評価での指摘事項		日本の都市部への人口や経済、資源等の一極集中の現象が続いている中、本市の持続可能なまちづくりを考える上で、地域の魅力を効果的に発信することは、移住促進や地域経済の活性化などに不可欠な事業であることから、事業効果を検証しながら、多様なニーズや特性に応じた柔軟な取組を展開するなど、切れ目なく事業の継続に努めてください。														

No.	012	—	1065	事務事業名	アートヴィレッジとうおん創生事業										公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	地域活力創出課		係 名	地域振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	補助等		実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度	～	令和7年度	
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち			政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進			主要施策	1 協働のまちづくりの総合的推進			
	事業の目的	文化芸術を通じた市内全域への交流人口の拡大、市の認知度向上及び移住促進のため。						根拠法令等						
	事業の手段	東温市移住定住促進協議会の実施事業に対する支援を行います。						掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略、アート・ヴィレッジとうおん構想、東温市移住定住促進マスタープラン					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標		
		東温アートヴィレッジフェスティバル参加者数		イベントを通じた交流人口の増加を確認するため				人	目標	1,772	2,000	2,000	2,000	
									実績	1,858	4,873			
									目標					
									実績					

D O	活動内容	①	東温市移住定住促進協議会への支援						④						
		②							⑤						
		③													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費			
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	3,390 千円		1,320 千円		1,310 千円								
		一般財源	11,454 千円		16,195 千円		10,206 千円								
		計(A)	14,844 千円		17,515 千円		11,516 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.677 人	4,289 千円	0.675 人	4,346 千円	0.675 人	4,346 千円								
	臨時職員工数・経費	0.054 人	113 千円	0.059 人	132 千円	0.059 人	132 千円								
全体事業費(A+B)		19,246 千円		21,993 千円		15,994 千円									

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	民間委託等
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	市の総合戦略事業として位置付け、市内外からのニーズも高い必要な事業です。												
	有効性	他に類似事業がなく、全国的な発信力も高い有効な事業です。												
	達成度	令和6年度は東温市誕生20周年記念事業として事業の充実に努めた結果、設定目標を大きく上回る参加者が得られました。												
	効率性	助成金を活用する等、財源確保に努めていますが、通年でイベントを実施するため事務量が多くなっていることから、実施手段の効率化を図っていく必要があります。												
	当面の課題	令和7年度末をもって本事業の根拠であるアート・ヴィレッジとうおん構想の計画期間が満了となることから、本事業の在り方について検討する必要があります。												
	改 革 画	成果検証の結果に基づき、市の更なる発展を目指すための新体制の構築に取り組みます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	民間委託等	
二次評価での指摘事項		計画期間が満了となるアート・ヴィレッジとうおん構想の成果検証の結果に基づき、一過性ではない持続的な地域振興にも繋がる要素を踏まえた新たな方向性を検討し、計画的かつ継続的な推進を目指してください。												

No.	012	—	1069	事務事業名	お試し移住促進事業										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	地域活力創出課		係 名	地域振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	令和 2 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	2 良好な住環境づくりの推進		主要施策	3 移住・定住の促進					
	事業の目的	東温市への移住を促進するため。						根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
	事業の手段	移住検討者が「お試し移住」するための「移住体験住宅」の利用促進及び移住体験プログラムを実施します。						掲載計画	まち・ひと・しごと地方創生総合戦略					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
	移住体験住宅の利用者		効果的な運営に向けた改善点や伸ばす点を確認するため		人	目標	20	20	20	20				
	移住体験住宅の利用を通じた移住者		移住体験を通じた移住者の増加を確認するため		人	実績	20	21						
						目標	3	3	3	3				
						実績	0	4						
						目標								
						実績								

D O	活動内容	①	移住体験住宅を活用した情報発信				④						
		②	移住体験住宅の利用促進				⑤						
		③											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費	
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	500 千円		500 千円		526 千円						
		一般財源	-28 千円		-1 千円		80 千円						
		計(A)	472 千円		499 千円		606 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.096 人	608 千円	0.096 人	618 千円	0.096 人	618 千円						
	臨時職員工数・経費	0.152 人	318 千円	0.204 人	456 千円	0.204 人	456 千円						
	全体事業費(A+B)	1,398 千円		1,573 千円		1,680 千円							

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	移住検討者が東温市の暮らしを体験することで移住確度が高まることから、受入体制は必要な取組です。												
	有効性	継続して住宅の利用希望があり、実績に繋がっていることから有効性の高い事業です。												
	達成度	住宅の利用者が移住する実績が出ており、目標設定に対して概ね達成しています。												
	効率性	利用希望者を公募する過程で、ターゲットである現役子育て世代を取りこぼしている可能性があり、DX化によるコスト削減と効率化の余地があります。												
	当面の課題	現役子育て世代をメインターゲットに置き、東温市への移住に興味のある世帯を取りこぼさないよう、DX化によるコスト削減と効率化を図るとともに、築浅住宅であるメリットのプロモーションを行い、利用希望者の拡大を図ります。												
	改 革 画	夏休み中は子育て世代に絞リ募集を行うなど、現役子育て世代の利用を促進します。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項	移住検討者向けのアプローチや周知広報などを積極的に行うことで、移住体験住宅の年間を通した施設稼働率の向上と、更なる移住実績の件数を増やしていけるよう引き続き効果的な事業取組に努めてください。													

No.	012	—	3030	事務事業名	商工業振興関連補助金										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	地域活力創出課		係 名	企業振興係		電話番号	899644414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp			
	事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	2 商工業の振興			主要施策	1 商業機能等の強化			
	事業の目的	中小零細企業の経営体質や経営基盤の強化・安定のため。						根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例					
	事業の手段	資金融資体制の整備及び支払利子の一部や信用保証料の補助などを実施します。						掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標	
		振興資金融資件数		多くの中小零細企業に利用いただくことが必要であるため				件		目標 35	35	35	35	
		産業まつり参加事業者数		経済活性化の取組に理解を広めるため				者		目標 30	30	30	30	
										実績 35	34			
										目標				
								実績						

D O	活動内容	①	中小企業振興資金利子補給						④	産業まつり補助					
		②	中小企業金融制度資金利子補給						⑤						
		③	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給												
	予算費目	会計	一般会計				費目名	商工				費			
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	45,813 千円		58,133 千円		57,716 千円								
		一般財源	5,191 千円		5,655 千円		5,563 千円								
		計(A)	51,004 千円		63,788 千円		63,279 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.961 人	6,089 千円	0.814 人	5,241 千円	0.814 人	5,241 千円								
	臨時職員工数・経費	0.125 人	262 千円	0.125 人	279 千円	0.125 人	279 千円								
全体事業費(A+B)		57,355 千円		69,308 千円		68,799 千円									

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	物価高騰や社会情勢に伴う経済不安等、市内中小零細企業を取り巻く環境は厳しさを増しており、融資や補助事業により経営基盤の強化を図ることは、必要性を増しています。												
	有効性	振興資金と金融制度資金の両方の利用が可能で、使いやすい制度となっています。一方旧両町から継続している制度であり、一本化の検討も必要です。												
	達成度	市内金融機関や市商工会と連携し、周知や支援を行うことで、適切に融資及び補助を行っており、概ね目標を達成しています。												
	効率性	申請時に金融機関や信用金庫等とのやり取りに時間を要しますが、経営情報等の重要な個人情報が含まれるため、現状電子化は適さないと考えています。												
	当面の課題	新型コロナウイルス感染症対策利子補給について、補助にかかる費用と事務が負担となっています。費用負担のために積み立てている基金が令和7年度末で利用できなくなるため、財源の確保が必要となりますが、今後の経済状況も混迷を深めており、継続した支援が必要です。												
	改 革 画	金融機関や商工会、他の支援機関等と調整しながら、市内中小零細企業のニーズに応じた支援制度の改革を推進します。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項		原材料費やエネルギー価格の高騰、賃金引上げ、慢性的な人材不足など、中小零細企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていることから、引き続き市内企業の経営安定化と成長に繋がるよう多角的な視点に立ちながら支援を推進してください。												

No.	012	—	3033	事務事業名	中小零細企業販路拡大マッチング事業										公的関与	9
PLAN	課名	地域活力創出課		係名	企業振興係		電話番号	899644414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ～ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	2 商工業の振興			主要施策	2 産業振興体制の確立・中小零細企業の経営基盤の強化					
	事業の目的	中小零細企業の商品の販路開拓・拡大、ブラッシュアップ及び事業者のプレゼン能力の向上を図るため。					根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例								
	事業の手段	松山圏域連携により中予の3市3町が共同し、実行委員会を立上げ、大手流通業バイヤーによる「逆」商談会を開催します。					掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		買い手企業招聘数		商談機会の提供が目的であるため			件	目標	40	40	40	40				
								実績	34	37						
		商談件数		商談機会の提供が目的であるため			件	目標	300	300	300	300				
								実績	262	336						
売り手事業者数		多くの中小零細企業に利用いただくことが必要であるため			件	目標	40	40	40	40						
						実績	34	43								
DO	活動内容	①	市内中小零細企業への周知、参加募集				④									
		②					⑤									
		③														
	予算費目	会計	一般会計				費目名	商工				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	150 千円		150 千円		150 千円									
	計(A)	150 千円		150 千円		150 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.055 人	348 千円	0.055 人	354 千円	0.055 人	354 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)		498 千円		504 千円		504 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	企業振興係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）														
	必要性	地方の中小零細企業が都市部の商談会に参加するための人件費や経費をかけることなく、流通業界のトレンドを知ることができる機会であり、松山圏域連携により取り組んでいる事業として定着しています。														
	有効性	商談件数が増加しており、商品のブラッシュアップやプレゼン能力の向上につながるとともに、全国規模のシェアを獲得できる機会の提供に繋がっています。														
	達成度	市内金融機関や市商工会と連携し、事業所に周知を行っており、概ね各市町の規模の割合に応じた参加数ですが、令和6年度は本市事業所の参加が前年より少なくなっています。														
	効率性	松山圏域連携中枢都市圏構想の一環として共同で取り組んでいるため、効率的に実施ができています。														
	当面の課題	バイヤーとのマッチングを図るため、対象業種を食品等関連に限定していることから、他の業種の参加ができません。参加事業所の拡大のため、連携市町と協議し、対象業種の拡大に向けた検討が必要です。														
	改計画	実行委員会に課題解決に向けた提案を行うとともに、連携市町と調整し、次年度以降の実施内容の検討を行います。														
	二次評価者	地域活力創出課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	二次評価での指摘事項		松山圏域の中小零細企業が売り手事業者として直接売り込みをかけることができる商談会に参加することで、製品のブラッシュアップやプレゼン能力の向上に繋げる機会にもなる貴重な取組であることから、事業を継続する中で事業趣旨に沿った更なる成果に繋がるよう連携市町との協議・調整を図ってください。													

No.	012	—	3043	事務事業名	中小零細企業まるごと応援事業										公的関与	9
PLAN	課 名	地域活力創出課		係 名	企業振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	2 商工業の振興			主要施策	3 産業支援・研究開発体制の整備					
	事業の目的	中小零細企業の発展や地域活性化のため。						根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例							
	事業の手段	中小零細企業が実施する様々な取組に対して補助をします。						掲載計画	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		補助件数	多くの中小零細企業に利用いただくことが必要であるため				件	目標	30	30	30	50				
								実績	33	41						
		補助金額	予算上限額に応じ、最大限活用することが必要であるため				千円	目標	6,000	7,000	8,000	10,000				
								実績	5,605	6,432						
						目標										
						実績										
DO	活動内容	①	団体を通じた中小零細企業への周知					④								
		②	中小零細企業からの申請受付件数					⑤								
		③														
	予算費目	会計	一般会計				費目名	商工				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	5,605 千円		6,432 千円		8,000 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.607 人	3,846 千円	0.607 人	3,908 千円	0.607 人	3,908 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)		9,451 千円		10,340 千円		11,908 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実		
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）														
	必要性	市内中小零細企業が地域資源や地域の特性を生かした商品やサービスに係る取組を支援する事業であり、人材確保やデジタル化等経営環境が厳しさを増す中で、市内中小零細企業からのニーズが非常に高い事業です。														
	有効性	市内中小零細企業の様々な課題に対し、ニーズに合わせた支援を行う補助メニューを毎年見直ししており、事業費の1/2を上限に支援することにより、成果が期待できます。														
	達成度	毎年、年度前半で補助申請額が予算額に達し、目標件数を上回っています。														
	効率性	市商工会等関係団体と連携して、広く中小零細企業に周知し、支援に繋がっています。団体と繋がっていない事業所にも情報を伝えるため、情報発信プラットフォームの検討の余地があります。														
	当面の課題	物価高騰やデジタル化等の様々な課題を抱えながらも前向きに事業に取り組む市内中小零細企業に対し、更なる支援が必要ですが、中小零細企業のニーズを迅速に捉えて施策に反映するための情報収集や情報発信のプラットフォームの構築を検討する必要があります。														
	改 革 計 画	中小零細企業現状把握調査の実施や円卓会議等を通じた関係団体等との連携により、市内中小零細企業のニーズ把握に努めます。また、新たな情報発信プラットフォームの構築を検討します。														
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項		物価高騰や人材不足など、中小零細企業が抱える課題に係る支援策としてニーズが非常に高いという結果が表れていることから、引き続き市商工会と連携しながら、より広く制度を周知する方法や支援メニューの更改を検討するなど、更なる事業の充実を図ってください。														